

中学校第3学年 総合的な学習の時間 指導案

1 単元名 「リサイクルプロジェクトU」(30時間)

2 生徒の実態

○本学年の生徒は学習意欲が高い生徒もいる半面、意欲が低く、消極的な態度が目立つ生徒もいる。また、教師の指示がないと自分から主体的に活動に取り組むことができない生徒も少なくない。しかし、体育会や合唱コンクールといった学校の諸行事には、意欲的に取り組む生徒も多く、リーダーが中心となって自主的に活動する場面も見られる。

○アンケート結果から、3年生の約8割が「社会科で学んだことが、日常生活に役に立っている」と感じている。しかし、「社会科で学習したことが総合学習で役に立っているか」の問いに約6割、「総合学習で学習したことが教科の学習に役に立っているか」の問いに約5割というように、教科と総合学習の関連においてはまだ意識化されておらず、十分な取組ができていない。

○生徒は基本的人権の一つ、「社会権」の学習で「勤労の権利」「勤労の義務」を学習している。また、総合学習では1年時に「職業調べ」を、2年時に「職場体験学習」を学習している。しかし、学習が不得手な生徒の中には、「生活に困らなければ働かなくてよい」と答えた生徒が約4割近くもいる。生きがいを見つけ、自分自身を高めていくというような、豊かに生きていくための手立てとしての勤労が、正しく認識されていない実態もあり、その点も見逃せない。

○リサイクルの学習は、小学校時に学習しているが、4小学校の取組には地域を題材としているため、その取組の特色に違いがある。また、本校の教育課程の中では、社会科公民的分野、理科1・2分野共に3学期に行うので、環境保全に対する知識や意欲は十分でなく、個々の見方や考え方に違いが見られる。

3 単元の目標

○リサイクル品販売活動や、バザー活動を通して望ましい勤労観や職業観等を育み、キャリア発達における能力を育てる。

○様々なリサイクル活動を通して、環境の保全に配慮した望ましい働きかけのできる態度を育成する。

4 教材観

日々変化する雇用状況の中、フリーターやニートの問題が少なからず生徒の職業観に影響を与えている。働く目的を「生活のため」「お金のため」と多くの生徒が考えている。確かにそれも理由の一つではあるが、先に述べたように、「生活に困らなければ働かなくてよい」と答えた生徒が多く、そこには「社会貢献」や「自己実現」といったものは見えてこない。所得の多さや一部の価値観だけで「勝ち組」「負け組」と安易に分類する風潮がある中、中学校3年生という進路選択の節目を迎えるのである。働くということは様々な困難と直面する、それは事実である。しかし、同時に多くの人やものと出会い、自分の人生を豊かにして

くれるものでもある。多くの先人が、そして生徒の身近な人々がそれを証明してくれている。

また、現在生徒はたくさんの「モノ」に囲まれて日常生活を送っている。「モノ」に対する価値観は昔と違い、「安い」「使い捨て」「便利」「手軽」なことが優先され、一つのモノを長く大切に使ったり、使えなくなったモノを修理したりすることが少なくなってきた。大人社会でも「常に新しいモノ」を追い求めていくことが優先され、経済発展の指針にもなっている。しかし、近年地球温暖化の懸念が叫ばれる中、以前に比べると環境保全に対する取組が珍しくなくなってきた。企業も「地球に優しい」商品の開発や、缶、ペットボトル、古紙の再利用などを積極的に行い、それを企業の広告の目玉にもしていることがある。こうした取組が生徒の環境に対する意識に少なからず影響を与えている。

5 方法観(指導の手立て)

ア 多様な人々と出会わせる。

(ア) G T と出会わせる。

○「つかむ」段階～課題意識をもたせる。

- ・福岡市環境局環境都市推進部
- ・P T A バザー実行委員

○「追究する」「生かす」段階～出店のアイデアや商品に関する知識を学ぶ。

- ・地域のリサイクルショップの店長
- ・豆腐店の職人さん

(イ) 保護者・地域の人々と出会わせる。

○「生かす」段階～保護者や地域の人と共同で出店することで、身近な人達との関わりを深め、誇りに思う気持ちを育てる。

(ウ) 異学年集団と出会わせる。

○「追究する」段階～小学校を訪問し、自分たちの取組を紹介し、バザー当日の宣伝活動を行う。

○「生かす」段階～下級生や小学生を相手に、気配りして販売活動を行う。

イ 体験的学習を行わせる。

(ア) リサイクル品回収を行わせる。

○「追究する段階」～地域、保護者、小学校に呼びかけ、余剰品やリサイクル品の回収活動を行う。

(イ) 野菜の栽培活動を行わせる。

○「追究する段階」～地域の方から借りた畑で、農作物を栽培・収穫し、採れた作物を食品バザーの材料とする。

(ウ) 宣伝、広告活動を行わせる。

○「追究する段階」～パソコンソフトを利用して作製したビラやポスターを使い、地域や保護者、小学校等での宣伝活動を行わせる。

○「生かす」段階～販売当日、校地校舎を回り、宣伝活動を行わせる。

(エ) 調理実習を行わせる。

○「追究する」「生かす」段階～G T や保護者、また家庭科教諭のアドバイスをもとに商品としての食品を調理する。

(オ) 販売活動を行わせる。

- 「生かす」段階～自分たちの作製した商品を実際に販売させる。
- 「生かす」段階～決算を行わせ、学校や地域に還元できることを模索させる。

6 教科との関連を図った単元構成の工夫

本単元は、「ボランティア」をテーマにしたものである。単元名「プロジェクトU」は「リサイクル活動を行い、リサイクル品を商品にして、PTA主催のバザーに共同で参加、出店し、働くことについて考えよう」というものである。「キャリア教育」と関係した取組を行うのである。そこで今回、その販売活動に社会科の経済的分野(東京書籍 第4章1わたしたちの暮らしと経済)と「内容」を関連させ単元構成した。社会科のこの単元は「家計」や「消費者の権利」などの比較的身近なものから、「流通」や「企業」「金融」といった、普段生徒が肌であまり感じることはない内容が含まれている。総合学習の単元では起業家としての体験学習を行うので、社会科の授業では消費者側からだけの視点だけに収まらず、できる限り消費者側と企業側の両方の立場から多角的に経済を考えさせ、今回の総合学習の単元と関連させた。そうすることで、まさに教科で学んだことが総合学習で生かされ(役に立つ)、さらに教科で学ぼうと生徒が意欲をもつのではないかと考えた。また、他の「社会的事象への関心・意欲・態度」「社会的な思考判断」の2観点が高まるような関連も図った。アメリカのサービスランニングのように、今回の食品バザー、リサイクル品販売活動を社会的自己実現の育成の機会に位置付け、この単元を通して勤労に関する多面的、多角的な考えがより一層広がる事をねらいとするのである。生徒が今回の活動を通して、教科で学んだとき以上により身近な問題として勤労に関してより多面的、多角的に考えを広げられるならば、教科で学んだことを生かしながら、総合学習で社会の一員としての生き方学習をすることになる。

7 単元全体の計画（全30時間）

主な活動と内容	教科のに関連する教師の支援	配時
<p>1, ボランティア活動に関心をもつことによって, 身近な取組を調べていく。</p> <p>(1) 小学校時の学習(総合学習の時間)を振り返りながら, 課題の方向性をつかむ。</p> <p>(2) G T (P T A バザー実行委員)からバザーの話を聞き, 自分たちにできることはないか考える。</p>		5
<p>2 ボランティア活動の必要性を考え, P T A バザー活動に参加する。</p> <p>(1) G T の話をもとに自分たちでできる活動(リサイクル品によるバザーへの参加)のめあてを考える。</p> <p>(2) グループ分け(役割分担, 計画たて, グループ・個人の課題設定)</p> <p>(3) 役割ごとの活動 ・学級枠を越えた活動を行う。</p> <p style="padding-left: 40px;">○店長 ○副店長 ○宣伝係 ○道具係 ○販売係 ○管理係</p>		23
<p>社会科公民的分野（下線は総合と関連を図った学習内容）</p> <p>『ハンバーガーショップを開こう』（2時間）</p> <p style="padding-left: 20px;">①店舗開設場所のマーケティング ②流行る店とそうでない店の違い</p> <p>『流通のしくみ』（1時間）</p> <p style="padding-left: 20px;">①商業の役割 ②流通の合理化 ③コンビニの挑戦</p> <p>『市場経済のしくみ』（1時間）</p> <p style="padding-left: 20px;">①市場経済とは ②需要と供給</p>	<p>○総合学習のバザー活動を想起させながら, 学習活動を行わせる。</p>	
<p>(4) グループ(学級)に戻り, 店舗開店に向けて準備を行う。</p> <p style="padding-left: 20px;">①自分たちで考えられる店舗開店のアイデアをまとめる。</p> <p style="padding-left: 20px;">②G T (地域のリサイクルショップ経営者)の講話を聞き, 自分たちのアイデアを振り返り検証する。</p> <p style="padding-left: 20px;">③教科の学習後に, 店舗開店のアイデアを改善していく。</p> <p style="padding-left: 20px;">④店舗の案を作成し, G T に講評してもらう。</p> <p>(5) バザー活動を行う。</p> <p>(6) バザー活動を振り返る</p> <p style="padding-left: 40px;">・グループや個人の反省を行い, 各店舗の販売の結果や様子をまとめる。</p>	<p>○社会科で使用したプリントを配布し, 教科で学習した内容を生かすよう助言する。</p> <p>○活動中は巡回指導し, 販売が停滞している店舗を中心に社会科の授業を想起させ助言する。</p>	
<p>3 リサイクル活動全体をまとめる。</p> <p>(1) リサイクル活動全体をグループごとにまとめ, 発表する。</p> <p style="padding-left: 40px;">・グループ, 個人の課題が解決できたか, テーマからはずれたり, ねじれたりしていないか気を付ける。</p> <p>(2) 今までの活動をもとに, これから自分でできること, また学級や学校, また地域単位でできることを考え発表する。</p>	<p>○教科の学習に生かすと共に, 今の自分の生活や学習を見直させ, 適切な進路選択が行えるように助言する。</p>	2